

避難所設営訓練を実施

6月18日(火)に町立武道館で、宇美町議会防災訓練(避難所設営訓練)を行った。

避難所を開設する際には、役場職員がパーティションや簡易ベッドなどを設置しているが、我々議員もそれぞれの地域の避難所では、主体者となることが望まれており、日頃の備えと学習が大切だ。

ほかにも発電機の動かし方や、簡易トイレの設置方法なども学んだ。



簡易ベッドの設置も楽じゃない



発電機の動かし方・簡易トイレの設置を学習



パーティションはフロアに30基ほど設置することも

全議員の防災士資格取得を目指す

宇美町議会では、地域の防災リーダーとして、平時には防災知識の普及啓発、災害発生時には避難支援や避難所運営などで活動するために、防災士資格の取得を進めており、現在12人中6人が資格を取得している。

防災士とは

”自助””共助””協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。



資格を取得した6人の議員



近年の気候変動で甚大な被害が各地で多発しています。災害が起きても慌てることなく対応できるよう防災士として、地域への対策に努めていきたいです。

令和5年度に資格を取得した
高橋 紳章 議員

なぜ高い？宇美町の医療費

本町の後期高齢者の一人当たり医療費は、平成26年以降8年連続で県下1位となり、高額な財政負担が発生している。本委員会では医療費の適正化を図ることが急務と考え、5月28日に勉強会を開催し、健康課医療費適正化推進室から説明を受けた。

医療費などの現状

国民健康保険、後期高齢者医療の一人当たり医療費は昨年より増加している。また、後期高齢者医療は県下1位で、一人当たり介護給付費（介護保険から支払われている費用）は福岡県介護保険広域連合の中で最も低く、医療費は高く介護給付費は低いという状況になっている。

後期高齢者医療費および介護給付費はかかった費用に対して、定率の給付費を町の一般会計で負担しており、今後も増加することが予想される。

◇後期高齢者医療 一人当たり医療費の推移 (単位:円)						◇介護保険 一人当たり介護給付費の推移 介護保険広域連合内比較 (単位:円)					
年度	H30	R1	R2	R3	R4	年度	H30	R1	R2	R3	R4
宇美町	1,337,499	1,399,932	1,363,164	1,379,831	1,398,809	宇美町	223,770	209,766	204,207	204,705	202,809
県内順位	1位	1位	1位	1位	1位	連合内順位	30位	33位	33位	33位	33位
福岡県	1,178,616	1,187,151	1,138,402	1,173,102	1,175,624	※福岡県介護保険広域連合は33市町村で構成					
全国	943,082	954,369	917,124	940,512	—						

医療費の分析

単価の高い疾患は以下。

- ①一回の治療で高額な医療費がかかる疾患:血管疾患
- ②長期入院を要し医療費が高む疾患:精神疾患
- ③継続的に高度な医療を要する疾患:人工透析

◇単価の高い医療サービス(後期高齢者医療)

☆1回の治療で80万円以上かかる疾患…1件当たり約126万円

区分	件数	費用額(円)	血管疾患		がん		整形疾患	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合
合計	1,196	1,501,919,160	298	24.9%	182	15.2%	313	26.2%
500万円以上	12	83,685,280	7	58.3%	0	0.0%	0	0.0%
200～400万円台	81	222,271,710	29	35.8%	10	12.3%	18	22.2%
80～100万円台	1,103	1,195,962,170	262	0.0%	172	15.6%	295	26.7%

☆長期入院(6ヶ月以上)を要し医療費がかさむ疾患…1人当たり約450万円

区分	件数	実人数	費用額(円)	血管疾患		精神疾患		整形疾患	
				件数	割合	件数	割合	件数	割合
合計	2,104	247	1,111,999,760	447	21.2%	234	11.1%	640	30.4%
10年以上	199	17	96,347,160	12	6.0%	70	35.2%	25	12.6%
5～10年未満	568	51	304,213,470	110	19.4%	63	11.1%	159	28.0%
～5年未満	1,337	179	711,439,130	325	24.3%	101	7.6%	456	34.1%

町の取組

令和5年度では分析結果から予防可能な疾患への保健事業を実施。令和6年度の具体的な取組は、健診やがん検診の受診率向上を目指したセット割健診や早割健診の実施、SNSなどで健康増進PR動画配信し、周知に努めている。また、大学と連携した医療費分析を進め、予防可能な疾患への保健事業を実施していく。

委員会より

近隣町村では例がない医療費対策に特化した「医療費適正化推進室」が設置された。これは町の医療費高騰に対する危機感の現れであると思慮する。

健診受診率の向上が疾患の早期発見につながる。令和5年度国保特定健診の受診率は35.4%でまだまだ低い。町長自ら健診増進PR動画に出演するなど積極的な姿勢も感じられる。

医療費適正化を推進することで宇美町健康増進計画の基本理念「いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の実現に期待したい。

自主防災組織に関する勉強会を開催

近年多発する大規模災害に備え、防災体制の確立が急務であり、本委員会では5月27日に宇美町内の自主防災組織の現状と将来像について、地域コミュニティ課と勉強会を行った。

自主防災組織とは…

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を防止し、軽減するための活動を行う組織。

自主防災組織がなぜ必要なのか…

災害が発生した場合、自分で自分と家族を守る「自助」が基本となるが、年齢や身体的な理由により、自分で自分を守れない場合がある。

また、大規模災害発生時は、行政・消防・警察などが全力を挙げて救助・救援などの「公助」を行うが限界がある。

地域住民の一人ひとりが、自主的、組織的に初期消火や情報伝達、避難誘導、救出・救護、避難所運営などを行うことが重要、「共助」の助け合いが必要となる。

自主防災組織設立のスケジュール…

町は、令和7年度までを目標に、自主防災組織の設立を促進している。設立に向けて、研修会(勉強会)を実施する。その後、各自治体単位または校区単位で協議を行い、自治会単位での自主防災組織の設立を目指す。

自主防災組織の設立後は…

避難訓練や避難所運営訓練などを定期的に行い、いつ災害が起きても対応できるような地域づくりを目指す。また、近年は自然災害ばかりではなく凶悪な犯罪など、安全安心な暮らしを脅かす不安要素が多様化しており、防災・防犯などに幅広く対応した取組が重要となる。

委員会より

今後は、全ての自治会で自主防災組織の設立を目指すことが重要であり、我々議員が防災士資格を取得し、自主防災組織を設立する際には、各自治会の役員さんとともに中心となって活動していきたい。



消火器の点検作業

町内の自主防災組織…

原田下自治会・福博鎌倉自治会・ひばりが丘二自治会・宇美東自治会・新成自治会・下宇美自治会・四王寺自治会・炭焼二自治会・明治町自治会・平成自治会・馬場自治会・井野自治会の12組織



自治会総出で開催する避難訓練



自主防災組織で作成した防災マップ